

第52回（令和6年度）JA共済 全国小・中学生

書 道

## 沖縄県コンクール募集要項

書道コンクールキャラクター

「キョショー」



© 2006 JA-KYOSAI

共催：沖縄県農業協同組合

全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部

後援：沖縄県農業協同組合中央会

沖縄県

沖縄県教育委員会

琉球新報社・沖縄タイムス社・琉球放送

沖縄テレビ放送・NHK沖縄放送局・琉球朝日放送

エフエム沖縄・ラジオ沖縄 <順不同>

## ●書道コンクール

### I 募集要項

#### 1. 応募資格

沖縄県農業協同組合の所在区域内の小学校、中学校および特別支援学校の小学部・中学部  
(以下「小・中学校」という。)に在籍する児童・生徒とします。

#### 2. 募集方法

第52回(令和6年度)JA共済全国小・中学生書道沖縄県コンクールは、全国共済農業協同組合連合会全国本部(以下「全国本部」という。)が開催するコンクールを「全国コンクール」、全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部(以下「沖縄県本部」という。)および沖縄県農業協同組合(以下「JAおきなわ」という。)が開催するコンクールを「県コンクール」、JAおきなわ各支店(平成6年度以降の合併JAにおいては合併前JA単位とします。)で開催するコンクールを「地区コンクール」といい、全国本部、沖縄県本部・JAおきなわ本店と各支店においてそれぞれが主催することとします。参加作品の募集は、JAおきなわの所在区域内における小・中学校を対象に実施することとします。

#### 3. 応募手順

- (1) 地区コンクールへの参加作品の応募先は、小・中学校の所在地を区域とする支店とします。
- (2) 県コンクールへの参加作品の応募先は、沖縄県本部事業企画部普及企画グループとし、小・中学校から、その所在地を区域とする支店を経由することとします。

#### 4. 応募点数

- (1) 地区コンクールへの応募作品の点数は、半紙・条幅の部とも1人各1点とします。
- (2) 県コンクールへの参加作品の点数は、半紙・条幅の部とも地区コンクールにおいて入選した各学年の最高位1点とします。
- (3) 全国コンクールへの参加作品の点数は、半紙・条幅の部とも県コンクールにおいて入選した各学年の最高位1点とします。

八重山地区コンクール応募作品  
の応募締切日は、9月10日です

#### 5. 締切日

- (1) 地区コンクール応募作品の応募締切日は、支店において適宜決定することとします。
- (2) 県コンクール参加作品の応募締切日は、令和6年9月27日(金)、沖縄県本部事業企画部普及企画グループあて必着とします。

## 6. 審査委員（県コンクール）

沖展審査員	田 名 洋 子
日展会友	幸 喜 洋 人
読売書法会理事	金 城 翔 山

## 7. 各賞（県コンクール）

### （1）県知事賞

条幅・半紙別に各1点

### （2）JAおきなわ特別奨励賞

全学年から半紙で1点

### （3）JA共済連特別奨励賞

全学年から条幅で1点

### （4）優秀賞

学年別、条幅・半紙別に各1点

### （5）優良賞

学年別、条幅・半紙別に各2点

### （6）佳 作

学年別、条幅・半紙別に各3点

（注）県知事賞、JAおきなわ特別奨励賞、JA共済連特別奨励賞は優秀賞の中から選定し、重複表彰は行いません。

### <参加賞>

県コンクール参加者全員に記念品を贈呈します。

## 8. 入賞発表

- （1）地区コンクールの入賞発表は、各支店において適宜行うこととします。
- （2）県コンクールの入賞発表は、JAおきなわの各支店を通じ入賞者へ通知します。
- （3）全国・県コンクールの上位入賞者については、氏名、学校名等について機関誌「JA共済」誌、「日本農業新聞」紙上、および適当と判断した新聞・雑誌等において発表することがありますのであらかじめご了承ください。

## Ⅱ 課題等

### 1. 課題

区 分		条 幅 の 部			半 紙 の 部		
小 学 生	第1学年	つ	ば	さ	う		た
	第2学年	は	な	び	く	る	み
	第3学年	秋	ま	つ	り	あ	さ が お
	第4学年	美	し	い	湖	笑	顔
	第5学年	友	情	の	証	信	じ る 道
	第6学年	豊	富	な	資 源	尊	い 生 命
中 学 生	第1学年	芽	吹	く	季 節	到	達 目 標
	第2学年	言	葉	の	源 泉	国	際 親 善
	第3学年	高	鳴	る	鼓 動	風	光 明 媚

### 2. 作品応募規格

#### (1) 応募作品

##### ア. 用 紙

##### (ア). 条幅の部

画仙紙半切 (タテ約 136cm×ヨコ約 35cm)

##### (イ). 半紙の部

半紙 (タテ約 33cm×ヨコ約 24cm)

※規格外の応募作品は審査対象外となります。(上記サイズより長短3cm程度までは可とします。)

※表装・裏打ち・押印等はしないでください。

##### イ. 書 体

小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。

##### ウ. 字 体

小学校の学習指導要領(別表1)の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。

(2) 学年・氏名の記入方法

作品への学年・氏名の記入は次のとおりとします。(図例1・2)

(学 年) (氏 名)  
○ 年 ○○○○○

ア. 小学校第1学年および第2学年

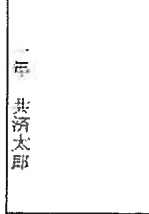
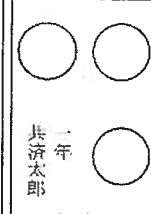
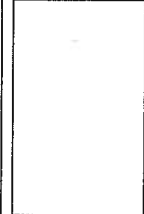
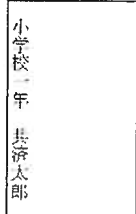
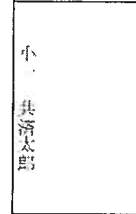
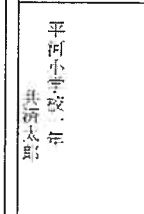
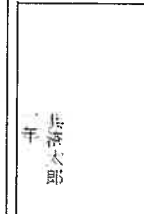
学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな(カタカナも可)」いずれでもかまいません。ただし、アラビア数字は使用しないでください。

イ. 小学校第3学年以上

学年は「漢数字」・氏名は原則「漢字」とします。

なお、次の(ア)～(エ)に該当する作品は審査の対象になりません。

- (ア) . 学年、氏名のないもの(図例3)
- (イ) . 小・中学校の別を記入したもの(図例4)
- (ウ) . 学校名を記入したもの(図例5)
- (エ) . 学年・氏名の順を誤って記入したもの(図例6)

正しい書き方		誤った書き方				
図例1	図例2	図例3	図例4		図例5	図例6
						
名札	名札	名札	名札	名札	名札	名札
		学年・氏名のないもの	小・中学校の別を記入したもの		学校名を記入したもの	学年・氏名の順を誤って記入したもの

(注) (1) 上記の(2) 学年・氏名の記入方法のイにおいて、小学校第3学年以上の児童は学年・氏名を漢字で書くようにと示しておりますが、平成14年度からの小学校学習指導要領では、漢字の「書く」指導について、1学年上の学年で書けるようにするという弾力的な指導が示されたことから、氏名の漢字使用については中学年(3・4年)以上の原則は守りつつも、難しい漢字につきましては弾力的な対応をいたします。

従って、小学校第3学年以上で氏名がひらがなだからとの理由のみで選外とすることは避けてください。

(注) (2) 半紙3文字の課題の場合の文字配列は上記「正しい書き方」図例2に示してあるとおりとし、その場合の名前の位置は図例1および2のいずれでも可とします。

(注) (3) 義務教育学校等の学年表記については学校の考え方に準じ、「七年、八年、九年」の記載を可能とします。

(3) 名札のはりつけ・記入方法

次の例に示すように、タテ 8cm×ヨコ 12cm 程度の別紙（コピー用紙など）に、県名、学校名、学年、氏名、所属 JA 名（支店名）を明記し、応募作品ごとに左下に必ずはりつけてください。

<例>

( 作 品 )	
県 名	
フリガナ	
学 校 名	_____市・区・町・村立 学 校
学 年	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	
J A 名	J A

12 cm

県名は太く、はっきりと記入してください。  
フリガナも必ず記入してください。

※名札は、コピー用紙などを使い、作品の左下にはってください。  
また、県名、JA 名等が明記されていない場合には、審査対象としないことがあります。

(4) 郵送等の注意

応募作品の提出、郵送等につきまして、作品を破損しないよう特に注意してください。もし作品が破損し、審査にたえない場合には審査の対象といたしません。

小学校學習指導要領

学年別漢字配当表

第一学年	<p>一 右 雨 田 王 音 下 火 花 貝 学 氣 九 休 玉 金 空 月 犬 見</p> <p>五 口 校 左 三 山 子 四 糸 字 耳 七 車 手 十 出 女 小 上 森</p> <p>人 水 正 生 青 夕 石 赤 千 川 先 早 草 足 村 大 男 竹 中 虫</p> <p>町 天 田 土 二 日 入 年 白 八 百 文 木 本 名 目 立 力 林 六</p> <p style="text-align: right;">(80字)</p>
第二学年	<p>引 羽 雲 園 遠 何 科 夏 家 歌 画 回 会 海 絵 外 角 楽 活 間</p> <p>丸 岩 顔 汽 記 帰 弓 牛 魚 京 強 教 近 兄 形 計 元 言 原 戸</p> <p>古 午 後 語 工 公 広 交 光 考 行 高 黄 合 谷 国 黒 今 才 細</p> <p>作 算 止 市 矢 姉 思 紙 寺 自 時 室 社 弱 首 秋 週 春 書 少</p> <p>場 色 食 心 新 親 図 数 西 声 星 晴 切 雪 船 線 前 組 走 多</p> <p>太 体 台 地 池 知 茶 昼 長 鳥 朝 直 通 弟 店 点 電 刀 冬 当</p> <p>東 答 頭 同 道 読 内 南 肉 馬 壳 買 麦 半 番 父 風 分 聞 米</p> <p>步 母 方 北 毎 妹 万 明 鳴 毛 門 夜 野 友 用 曜 来 里 理 話</p> <p style="text-align: right;">(160字)</p>

<p>第三 学 年</p>	<p>             惡安暗医委意育員院飲運泳馱央橫屋温化荷界              開階寒感漢館岸起期客究急級宮球去橋業曲局              銀区苦具君係輕血決研鼎庫湖向幸港号根祭皿              仕死使始指齒詩次事持式寔写者主守取酒受州              拾終習集住重宿所暑助昭消商章勝乘植申身神              真深進世整昔全相送想息速族他打对待代第題              炭短談着注柱丁帳調追定庭笛鉄軫都度投豆鳥              湯登等動童農波配倍箱焂發反坂板皮悲美鼻筆              水表秒病品負部服福物平返勉放味命面問役藥              由油有遊予羊洋葉陽樣落流旅両緑礼列練路和              (200字)         </p>
<p>第四 学 年</p>	<p>             愛案以衣位茨印英榮媛塩岡億加果貨課芽賀改              械害街各覺瀉完官管関観願岐希季旗器機議求              泣給拳漁共協鏡競極熊訓軍郡群徑景芸欠結建              健驗固功好香候康佐差菜最埼材崎昨札刷察參              産散殘氏司試兇治滋辞鹿失借種周祝順初松笑              唱焼照城繩臣信井成省清静席積折節説淺戰選              然争倉巢束側統卒孫帶隊達単置仲沖兆低底的              典伝徒努灯働特徳枋奈梨熱念敗梅博阪飯飛必              票標不夫付府阜富副兵別辺変便包法望牧末滿              未民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例連老              勞録              (202字)         </p>



<p>第 五 学 年</p>	<p>         压 圉 移 因 永 嘗 衛 易 益 液 演 応 往 桜 可 仮 価 河 過 快          解 格 確 額 刊 幹 慣 眼 紀 基 寄 規 喜 技 義 逆 久 旧 救 居          許 境 均 禁 句 型 經 潔 件 險 檢 限 現 減 故 個 護 効 厚 耕          航 鉉 構 興 講 告 混 查 再 災 妻 採 際 在 財 罪 殺 雜 酸 贊          士 支 史 志 枝 師 資 飼 示 似 識 質 舍 謝 授 修 述 術 準 序          招 証 象 賞 条 状 常 情 織 職 制 性 政 勢 精 製 稅 責 績 接          設 絶 祖 素 総 造 像 増 則 測 属 率 損 貸 態 団 断 築 貯 張          停 提 程 適 統 堂 銅 導 得 毒 独 任 燃 能 破 犯 判 版 比 肥          非 費 備 評 貧 布 婦 武 復 復 仏 粉 編 弁 保 墓 報 豊 防 貿          暴 脈 務 夢 迷 綿 輸 余 容 略 留 領 歴 (193字)       </p>
<p>第 六 学 年</p>	<p>         胃 異 遺 域 宇 映 延 沿 恩 我 灰 拈 革 閣 割 株 干 卷 看 簡          危 机 揮 貴 疑 吸 供 胸 鄉 勤 筋 系 敬 警 劇 激 穴 券 絹 権          憲 源 巖 己 呼 誤 后 孝 皇 紅 降 鋼 刻 穀 骨 困 砂 座 濟 裁          策 冊 蚕 至 私 姿 視 詞 誌 磁 射 捨 尺 若 樹 収 宗 就 衆 従          縦 縮 熟 純 処 署 諸 除 承 将 傷 障 蒸 針 仁 垂 推 寸 盛 聖          誠 舌 宣 專 泉 洗 染 錢 善 奏 窓 創 装 層 操 蔵 臍 存 尊 退          宅 担 探 誕 段 暖 值 宙 忠 著 庁 頂 腸 潮 賃 痛 敵 展 討 党          糖 届 難 乳 認 納 腦 派 拝 背 肺 俳 班 晚 否 批 秘 俵 腹 奮          並 陛 閉 片 補 暮 宝 訪 亡 忘 棒 枚 幕 密 盟 模 訊 郵 優 預          幼 欲 翌 乱 卵 覧 裏 律 臨 朗 論 (191字)       </p>

## 字体についての解説

## 明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体—手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

## 1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

## (1) 折り方に関する例

衣 — 衣    去 — 去    玄 — 玄

## (2) 点画の組合せ方に関する例

人 — 人    家 — 家    北 — 北

## (3) 「筆押さえ」等に関する例

芝 — 芝    史 — 史  
入 — 入    八 — 八

## (4) 曲直に関する例

子 — 子    手 — 手    了 — 了

## (5) その他

之 — 之    々 — 々    心 — 心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨 - 雨 雨    戸 - 戸 戸 戸

無 - 無 無

(2) 方向に関する例

風 - 風 風            比 - 比 比

仰 - 仰 仰

糸 - 糸 糸    ネ - ネ ネ    ネ - ネ ネ

主 - 主 主            言 - 言 言 言

年 - 年 年 年

(3) つけるか、はなすかに関する例

又 - 又 又            文 - 文 文

月 - 月 月

条 - 条 条            保 - 保 保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥 - 奥 奥            公 - 公 公

角 - 角 角            骨 - 骨 骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切 - 切 切 切      改 - 改 改 改

酒 - 酒 酒      陸 - 陸 陸 陸

穴 - 穴 穴 穴

木 - 木 木      来 - 来 来

糸 - 糸 糸      牛 - 牛 牛

環 - 環 環

(6) その他

令 - 令 令      外 - 外 外 外

女 - 女 女      叱 - 叱 叱 叱

【 名 札 】 ※この見本をコピーしてお使い下さい。

のりしろ	
県 名	沖 縄 県
フリガナ	イガキリツトノシロショウガッコウ
学 校 名	石垣市立登野城小学校
学 年	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	オキナワケンノウキョウキョウトウクミアイ ヤヤマシテン
J A 名	沖縄県農業協同組合 八重山支店

のりしろ	
県 名	沖 縄 県
フリガナ	イガキリツトノシロショウガッコウ
学 校 名	石垣市立登野城小学校
学 年	
フリガナ	
氏 名	
フリガナ	オキナワケンノウキョウキョウトウクミアイ ヤヤマシテン
J A 名	沖縄県農業協同組合 八重山支店

8 cm

12 cm